

経営課題 4 まちづくり・環境



現状と課題	R 4 年度 取組	次年度への課題	R 5 年度 取組計画（案）
【現状】 夢洲（万博・IR）やUSJの賑わいによる来訪者が此花区内部を素通りする恐れ 【課題】 2025年の大阪・関西万博の開催を契機とした此花区内部の魅力形成が必要	≪6月～8月≫ 正蓮寺川公園のアート公園化に向けた仕組みの構築 第1回目の有識者会議の開催 ≪9月～11月≫ 万博のロゴマークをモチーフにしたアート作品の検討 地元地域に愛着のあるキックオフ作品の検討 ≪12月～1月≫ 業務委託契約手続き（アーティストの選定補助など） 実行委員会の開催	万博のロゴマークをモチーフにしたアート制作の実現（重点予算要求項目） 選定アーティストによる地元地域に愛着のあるキックオフ作品の制作（環境創造プロジェクト基金活用） 円滑な正蓮寺川公園のアート公園化に向けた仕組み機能の実現	万博のロゴマークをモチーフにしたアート制作および設置 【継続】（22,360千円／重点予算） 選定アーティストによる地元地域に愛着のあるキックオフ作品の制作および設置【継続】（19,400千円） 有識者会議、実行委員会の開催（適宜） アート設置にかかるイベント開催
【現状】 持続可能な社会の実現に対する関心が低い 【課題】 取り組みの強化が必要	みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト2地域を拡大 R2年～ 西島 R3年～ 高見・梅香 R4年～ 島屋・桜島	地域と連携を深め、環境問題を身近に感じてもらい、SDGsへの意識を高めてもらうことが必要	みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクトをさらに地域拡大を目指す

事業名案

konohana permanente 100+

このはな ペルマネンターレ ひゃくプラス

テーマ案

いのちの輝き脈々と、未来へ

コンセプト案

100以上のアートを未来に向けて脈々と作り続け、
更新し続けていくことそれ自体によって、脈々と未来につながり続ける
命の輝き（well being）を表現する。

長年にわたり増殖し、形を変えていく「konohana permanente 100+」
自体をコロニー型アートとしてとらえる。

子どもが笑顔を輝かせ喜ぶ個別アートを集めることで、
多くの人々の笑顔を創り出し、その笑顔もコロニー型アートの一部とする。

これから

区民の皆さまの意見を汲み上げる実行委員会を立ち上げ（次ページ参照）



R4.8.19 有識者会議にて撮影

左記の事業名等は、以下のメンバーで
構成される有識者会議にて検討された

【写真右より】

前（株）鴻池組名誉会長
鴻池 一季 様

（株）プロアシスト代表取締役社長
生駒 京子 様

大阪公立大学研究推進機構特別教授
橋爪 紳也 様

アート事業の体制図

案

【正蓮寺川・六軒家川環境整備推進協議会】

【正六協アート部会】



【事務局】
此花区役所

【いのちミyakumiyak 未来有識者会議（仮称）】



橋爪様



生駒様



鴻池様

- ・コンセプトの検討
- ・実施手法のアドバイス
- ・アート作品の審査・選定へのアドバイス

【事務局】
此花区役所

このはな パルマネンターレ 【konohana permanente 100+（仮称）実行委員会】

【正六協アート部会】



【行政関係者等】

- ・アート作品の選定に関する審議
- ・その他の事業に関する審議

【その他】

- ・公募 若干名
- ・その他

【事務局】
此花区役所

提案

意見

提案

意見

此花区役所

選定

アーティスト

みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト



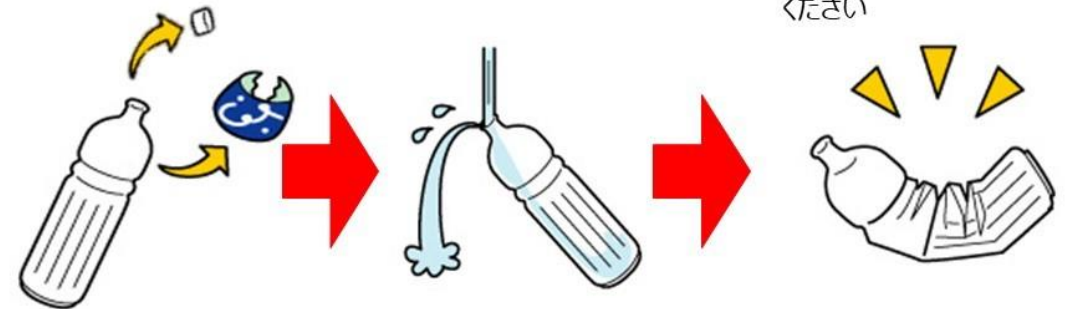
ペットボトルの分別方法

新たなペットボトル回収では、ボトルからボトル等へリサイクルしていくため、質の高いペットボトルを排出することが重要となります。きれいに排出できるようご協力をお願いします。

① 「キャップ」と「ラベル」を
はずしてください

② 中身を出してさっと水洗い
してください

③ できるだけつぶして、中身の
見えるごみ袋に入れてお出し
ください



※ キャップの下についているリングは
外さなくても大丈夫です

※ 「キャップ」と「ラベル」は容器包装プラ
スチックにお出しください